

2019 年

受験体験記

M.N.

受験校

西大和学園（合格）、桜蔭（合格・進学）、豊島岡女子学園（合格）

私が南雲国語教室に入ったのは、新5年生の2月でした。当時は、自分がまさか桜蔭の国語を50分でできるようになるなんて夢にも思っていませんでした。

しかし、南雲先生の授業を受け続けるうちに国語の偏差値はだんだん上がり、新6年生に上がる頃には国語で他の受験生と差がつけられるようになっていました。

南雲先生の授業は分かりやすく、要点を的確に、そして語句や指示語などの基礎の部分からご指導くださいます。

また、南雲先生の添削が入った答案を見ると、自分の答案にどの要素が足りなかったのかがよく分かります。そのため復習がしやすく、より実力アップにつながりました。

新6年生の2月からは、南雲先生に指示された問題を家で解くようになりました。南雲先生は、私の実力に合わせて第1志望校桜蔭の過去問や第2志望校豊島岡の過去問を宿題にしてくださったりしました。

また、私が

「全然50分で終わらないです。1題に50分かかったりもするんですけど…」

と嘆くと、先生は

「目標時間を決めて、それを少しずつ短くしていけば大丈夫ですよ。5分ずつでもいいから、時間を縮めてみようか。」

と優しくアドバイスをしてくださいました。

そのアドバイスどおりに桜蔭や豊島岡の国語に取り組んでみると、2校ともだんだんと解く時間が縮まりました。また、9月からの個別指導の甲斐もあり、10月頃には過去問が50分で終わるようになっていました。

私は11月に受けた桜蔭形式の模試の国語で記述の解答欄を間違えてしまい、書き直しましたが、それでも50分で書き終えることができ、成績も満足のいく結果でした。

これも、9月からの個別指導のおかげです。個別指導では、主に桜蔭の過去問を家で解き、それを先生に提出して解説して頂くという形で行われました。

南雲先生は、先に要点と根拠をすべて説明するのではなく、「～の部分に～と書いてあるから、どんなことが言えますか？」というように、私に考えさせて下さり、読解力の向上につながりました。まさに個別ならでは、そして南雲先生ならではの指導法だったように思います。

いつも電車で通塾していた私は、インフルエンザへの恐怖から1月の最後の授業こそ行けなかったものの、1月30日に郵送で送られてきた御守とメッセージに励まされました。

南雲先生、本当にありがとうございました。